



発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0021
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第286号



二〇一一年

復活祭

ヨゼフ・竹森

勇

春の新しい命の息吹を受けて
私たちの生命の源・光・よろこびと
希望そのものであられる
復活された 主・キリストの
祝福と恵みがありますように、
皆様方二回の上にお祈りいたします。

復活

おめでとう

ございます。



今モーセの十戒を読み直す	2面
心の健康セミナー	2・3面
ペルーからの手紙	3面
委員会報告	4面
典礼委員会議事録	5面
子ども達のページ	6面
教会学校のページ	7面
おしらせ・短歌紹介	8面

「今、モーセの十戒を読み直す」No.11

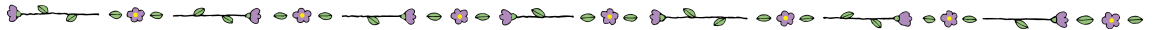
さいたま教区長 谷 大二司教

第七戒

「盗んではならない」 エジプトでは貧しい者が盗めば泥棒、支配層は国家の名のもとで収奪しても罰則はなかった。どんなものが収奪されていたか。労働、土地、家、家畜、生産物、奴隷、子ども、そして経済格差など。今の社会を見ると何が泥棒か。個人のことを言っているのじゃなくて共同体に向けて言われている言葉、あるいは国家に向けて言われている言葉と考えれば、いまの南の国々と北の国々との経済格差、それによる収奪がいまだに続いている訳ですね。

それから新自由主義、弱肉強食の経済、これこそ本当の今の泥棒なんじゃないか、こういう風に言えると思います。個人に対するものとしてではなく、民に命じたところに意味があって、基本的には富の平等な分配ということの意味していると考えることができます。

聖書の中でもいろんな試みがあります。50年ごとに行われた「ヨベルの年」、あるいは初代教会で行われていた原始共産制の社会、共同体のあり方が参考になると思います。イエスは自ら貧しい者としてこの世に生まれました。そしてイエスは貧しい人とともに歩み、生活し、死んでいった。貧しい者とともにいるというご自身の立場をいつも鮮明に残していたと思います。(次号へ続く)



心の健康セミナー 「家族について考える(2)」要旨

「家族」の病理 2月13日(日)14時 黙想の家

私たちは「家族」を<空気>のようなものとして成長する。ところが、思春期の頃から親子関係が「意識化」*「客観視」されるようになる。「家族」は社会化され批判的対象となる。

夫婦が価値観の相違から不仲になると離婚、DV(30~40代では習慣化しやすい)の問題がおきる。違いは当たり前と達観することができれば赦せるようになる。

日本人は子どもを自分の延長と考える。親と子が対象ではなく延長と考える弊害が一家心中や親族殺人の背景にある。子が自分の一部である親の情けない姿を許せないことが高齢者虐待につながる。

幼児虐待は愛情の欠如とされるが、母性愛神話にとらわれた社会のゆがみでもある。一方的な母性感をせまる日本社会は、非行、いじめ、不登校、コインロッカー・ベイビーなどの責任を母親に押し付ける。日本人は「母なるもの」に、何があっても見捨てないといった宗教にかわる機能を果たさせようとしている。母性本能説は「産む能力イコール育てる能力」とするが、産むことはできても育てることはできない。3才までは母親が育てるべきというのは、3歳児神話にすぎない。これに対して「母性愛は女性の本能ではない、母親の愛情はもちろん必要ではあるが、必ずしも子どもにとって最善とは限らないとする考え」が基本的

水巻教会・レプトン会の皆様へ

十主の平和

早2月にはいり今日はもう9日です。

1月29日のレプトン会一日黙想会では聖霊の息吹が皆様のうえに注がれ、イエス様のお望み「一人一人が優しい気持ちを持ちやさしさを人々に示していく」という素晴らしい真理をさとり実行されるというお恵みを頂いた事、本当におめでとうございます。

皆様のエネルギーがペルーの国まで届いて、わたし達の宣教の力となっています。ありがとうございます。

先日は大変失礼致しました。再度2010年度の会計報告書を送らせていただきます。また2月4日にシスター鳥瀬が皆様からの大切な献金35万円を届けて下さいました。確かに受け取りました。本当にありがとうございました。

今、私たちは新しく始まるサンガブリエルでの宣教準備に一生懸命です。

皆様お一人お一人とご活動の上に神様の豊かな祝福を心を込めてお祈り致します。

どうぞ私達のためにも続けてお祈りくださいませ。

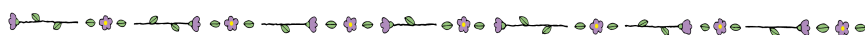
2011年2月9日

サンタローザ準管区 管区長シスターテレジア川端キヌエ



パンプロナ・アルタの Maria Taki 保育園の様子。

(2ページ下段より)



である。

母子癒着の病理は、母の乳房にぶら下がる男たち、男性に自立を求めない社会現象を生み、少女誘拐監禁事件（新潟2000年）などの悲劇を発現した。

現在は、女性の高学歴化と社会参加による男女共同参画社会の実現が国際的潮流となっている。機械的に家事を二分する家庭もある。一方で専業主婦志向の回帰願望もあるが、男女が共同で働かなければ、生活が成り立たないのも現実である。（報告 矢田）

委員会等報告

2011年3月分

3月度小教区委員会

3月6日

1、前委員会の議事録確認

信徒総会、人選過程の流れについて

○信徒総会の日程、5月8日(日)に行う

○地区集会の実施(詳細の決定は下記)

○役員改選：2名の立候補者を確認、後日、竹森神父が各候補者に話を聞くことになりました。2月13日(日)候補者公示、2月26日(土)、2月27日(日)に選挙を行う方向で検討。選挙権20歳以上、開票は27日(日)当日。

・普通の選挙とは違う。対立を避けるためである。マイナスのリスクを避けた。

・信徒総会で事後承認をするまでに、役員について信任投票をすべきではないか。

なお、地区役員は3月中に、届け出を行う。

*5月15日(日)黙想の家での集い(典礼委員会主宰)

2、先月の行事報告

2月13日(日)信徒協、聖書講座 小倉教会

2月27日(日)宮原司教訪問

3、議題

・2011年委員長選任について

司祭・小教区委員長から報告があった：「神父が各候補者に話を聞く。選挙を行う。」；この過程の中で、神父が各候補者に面談した時点で川島氏は立候補を辞退した。

次のことが結論された：岡部氏が信徒会長候補に。信任投票は行わない。総会で、事後承認で決定する。

なお、この間、次の様な討論が行われた。
・どうして川島さんが辞退したのか、理由が出ていない。

・それはもう終わったことで、ここで改めて言う必要はない。

4、その他

新たな神学生の司牧実習

下水整備(3月17日、役場で話し合い)

5、これからの予定

3月9日(水)灰の水曜日

3月13日(日)地区集会 折尾、中間、吉田

3月20日(日)地区集会 赤間、芦屋、梅の木

3月21日(月)司祭叙階式 於：カテドラル
2名 11時より

3月27日(日)地区集会 高須青葉、海老津、遠賀

4月2～3日(土、日)黙想会、指導、染野神父
3日ミサ後に、共同回心式。

4月17日(日)枝の主日

4月21日(木)聖木曜 19:30～

4月22日(金)聖金曜 19:30～

4月23日(土)聖土曜 19:30～

4月24日(日)復活祭 午前10:00～

2010年度 第10回 典礼委員会議事録

開催日時：2011年3月16日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、柴田、樽角務、樽角司、松尾、山本、安永仙、俵、三谷、矢田

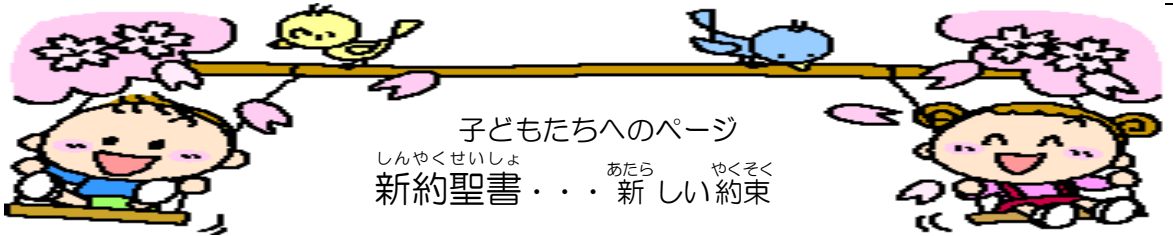
《報告事項》

- 1 灰の水曜日 ミサと灰の式 出席 午前61名 午後33名
「聖書と典礼」冊子購入を来年度より依頼する。
- 2 3月20日(日)～4月10日(日)9:10より
四旬節信心業「十字架の道行」司会者が先唱
- 3 復活徹夜祭で洗礼を受ける成人女性 2名(川崎さん、尾崎さん)
- 4 「使徒信条」は、4月24日より導入する。
- 5 年の黙想会・共同回心式
2日(土)午後2時～4時 午後7時～9時 3日(日)ミサと共同回心式
指導司祭：染野治雄神父 回心式の入祭：典礼聖歌6番 閉祭：118番
- 6 聖体奉仕者講習会 5月～11月まで月1回 福岡大名町
参加希望者は3月末までに神父に連絡

《審議事項》

- 1 4月(聖週間を含む)聖歌予定 ミサ後、聖週間の聖歌練習 4月10日、17日
- 2 聖週間の典礼について
朗読・詩編担当者については、昨年を参考に依頼する。
ソテツの枝(岩本宅)4月10日、約130本(鎌と鋏一山本氏ほか)
ローソクの準備 4月17日 ミサ後 典礼委員で作成
- 3 来年度の典礼委員会名簿作成
構成：神父、ミサ司会者、冠婚葬祭の会、侍者の会、
詩編を唱う会(オルガン奏者を含む)教会学校(代表者)
- 4 「黙想の家で祈り語りあう集い」(2011年度は2回を予定)
信徒、身近な未信者に呼びかけるチラシ作成
第1回 5月15日(日)午後2時～5時
講師：来住神父 テーマ：「迷いと選択」
参加費：300円/信徒一人
冠婚葬祭の会より1万円、教会会計より5000円(部屋代)
- 5 クリスマス冊子の更新については保留
- 6 オルガン奏者の開拓：教会学校の子どもにあたってみる。

次回予定 2011年 4月13日(第2水曜日) 信徒会館



子どもたちへのページ

しんやくせいしよ あたら やくそく
新約聖書・・・新しい約束

モーセはイスラエルの民^{たみ}を連れてエジプト^つを出よう^でとしましたが、エジプトの王^{おう}は許^{ゆる}してくれませんでした。そこで神様^{かみさま}はモーセ^いに言いました。

「家族^{かぞく}で一匹^{いっぴき}の小羊^{こひつじ}を殺^{ころ}しなさい。小羊^{こひつじ}の血^ちは家^{いえ}の入り口^いの外の^{ぐち}柱^{そと}と^{はしら}その上^{うえ}に塗^ぬりなさい。そして小羊^{こひつじ}の肉^{にく}は焼^やいて、パン^なと菜^なと一緒に^{いっしょ}全部^{ぜんぶ}食^たべなさい」

その夜^{よる}、神^{かみ}はエジプト^{じゆう}中^{まわ}を回^ひり、人^{ひと}も家畜^{かちく}も初子^{はつこ}(始めて^{はじ}生まれた^う子^こ)も殺^{ころ}しました。柱^{はしら}に血^ちを塗^ぬったイスラエルの民^{たみ}の家^{いえ}はとおす^{とおす}通り過ぎました。そのため、エジプトの王^{おう}はイスラエルの民^{たみ}がエジプト^でを出^いて行く^いことを許^{ゆる}しました。

イスラエルの民^{たみ}は苦^{くる}しい生活^{せいかつ}から出^でて自由^{じゆう}になった^{きねん}ことを記念^{いま}して、今^{いま}も毎年^{まいとし}過^{すぎ}越^こ祭^{さい}を祝^{いわ}います。もちろんイエス様^{さま}のころも同じ^{おな}じでした。

イエス様^{さま}も弟子^{でし}達^{たち}と過^{すぎ}越^こし^{しよくじ}の食^{しょくじ}事をし^しました。この時^{とき}の食^{しょくじ}事^{さいご}は「最後の^{ばんさん}晩^{ばん}餐^{さん}」と^として有名^{ゆうめい}です。この食^{しょくじ}事^{さいご}の時^{とき}のこ^{せいしよ}が聖^{せいしよ}書^{しょ}に書^かいてあります。

「一同^{いちどう}が食^{しょくじ}事をしているとき、イエスはパン^{ぱん}を取り^と、賛美^{さんび}の祈^{いの}りを唱^{とな}えて、それを裂^さき、

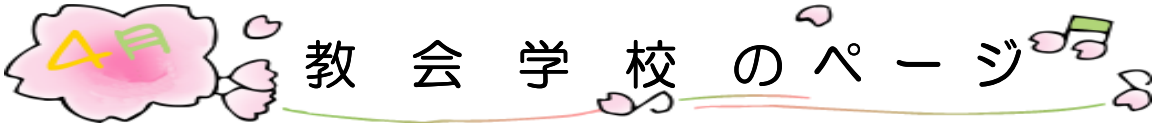
弟子^{でし}達^{たち}に与^{あた}えながら言^いわれた。『取^とって食^たべなさい。これは私^{わたし}の体^{からだ}である』また、杯^{さかずき}を取り^と、感謝^{かんしゃ}の祈^{いの}りを唱^{とな}え、彼ら^{かれ}に与^{あた}えて言^いわれた。『皆^{みな}、この杯^{さかずき}から飲^{のみ}みなさい。これは、罪^{つみ}が赦^{ゆる}されるように、多く^{おほ}の人^{ひと}のために流^{なが}されるわたしの血^ち、契約^{けいやく}の血^ちである。』・・・」

この時^{とき}にイエス様^{さま}がわたしたちにされたのが新^{あたら}しい約^{やく}束^{しんやく}(新約)です。

旧約^{きゅうやく}聖^{せい}書^{しょ}の考^{かんが}え方^{かた}では、「血^ちは命^{いのち}」であり「神聖^{しんせい}」なものでした。だから今^{いま}でもイスラエル人^{じん}は肉^{にく}料理^{にくりょうり}をするときに、肉^{にく}の血^ちが残^{のこ}らないようにしてから料^{りょうり}理^りします。レビ記^{れびき}19章^{しょう}には「あなた^ちたちは血^ちを含^{ふく}んだ肉^{にく}を食^たべてはならない」と書^かいてあります。

イエス様^{さま}は、わたしたちの罪^{つみ}を自分^{じぶん}の血^ち(命^{いのち})で神^{かみ}に赦^{ゆる}してもらうと言^いわれたので、この食^{しょくじ}事^おが終^{あと}わった後^さにイエス様^{さま}は捕^{つか}まり十字架^{じゆうじか}にかけられます。

毎^{まい}週^{しゅう}のミサ^{みさ}の時^{とき}、神^{しん}父^ふ様^{さま}が祭^{さい}壇^{だん}で杯^{さかずき}を捧^{ささ}げて言^いわれている言^{こと}ば^ばを注^{ちゅう}意^いして聞^きいてください。



4月 教会学校のページ

2月27日(1~6年生)

○司教様のお話を思い出して話し合う。

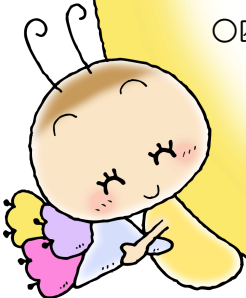
イエス様に会える3つのこと

1. お祈りをする
2. お父さんやお母さんに神さまの話を聞く
3. 神様がお喜びになることをする

この3つをできるだけしましょう。

○四旬節の話

- ・イエス様のご復活を迎えるための準備期間です。
- ・イエス様が40日間断食された話をする。
- ・自分たちにもできることをしようと話し合い、考えた。
 - ・何かをがまんする
 - ・人に親切にする
 - ・四旬節の間1日1回よいことをする



3月13日

1・2年生

- ・今日の聖書を読んで、悪魔の誘惑に対するイエス様の言葉を探してノートに書く。
- ・四旬節の間にささげる犠牲をする。
 - ・お祈りを忘れずにする
 - ・おやつをがまんする
- この他、自分にできたことをノートに書く
- ・ニュースで見た、巨大地震・津波に遭った人々のことも考えて過ごしましょう。

3・4年生

- ・アベ・マリアの祈りを皆で唱える。
- ・ミサで朗読されたお言葉を、再度自分たちの聖書で開き、朗読をする。
- ・四旬節にささげる犠牲と、震災で苦しんでいる人たちのためにできることについて話し合う。(祈り・募金・思いやる心)



★ホームレス支援の炊き出し★

日 時：4月22日(金) 午前10時～
場 所：水巻教会 信徒会館

今回と後期10月頃に、朝9時～10時に総菜を黒崎方面まで取りに行ってくれる人、午後3時または7時ごろ弁当を七条の支援センターまで運んでいってくれる人を探しています。これまで担当の方が都合できなくなり、この係がいなければ炊き出しが引き受けられません。

どうぞ、お手伝いしてもいいとお考えの方はぜひアプドゥハンまでご連絡お願いします。

4月3日(日) 9時半～

主日のミサと共同回心式があります。

指導神父 染野治雄神父(福岡黙想の家)

★聖週間のお知らせ★

- 17日(受難の主日)
- 21日(聖木曜日) 19時30分より
- 22日(聖金曜日) 19時30分より
- 23日(復活徹夜祭) 19時30分より
- 24日(復活の主日) 10時より



【転出】お元気で！

- ◇ゴンザレス・エロイさん
- タボアグ・カーラさん
- ゴンザレス・ニコラスさん

折尾地区より奈良へ

★黙想会・共同回心式★

日 時 4月2日(土)
14時～16時・19時～21時

折尾地区

西山寿美枝さんの短歌

花びらは風に追われて側溝え

桜の色を積み上げていく

菜種油を絞る畑の菜の花は

今が満開春をうたえり

菜の花とナズナの白がともに咲き

農婦は土を起こしては積む

お復活人の愚痴などきいてやり

祈り中で愛をはぐくむ

雪柳好きの方へと垂れて咲く

自由がいいのよ自然な姿

麦の畑指先程の芽を出すも

お花になれば穂先鋭し

麦の穂は青く鋭し根元には

うす紫の大根の花